

## 要 旨

試験委託者

環境省

表 題Benzene, 1-chloromethyl-4-nitroのオオミジンコ(*Daphnia magna*)に対する繁殖阻害試験試験番号

92334

試験方法

本試験は、OECD化学品テストガイドライン No.211「オオミジンコ繁殖試験」(1998年)に準拠して実施した。

- 1) 被 験 物 質： Benzene, 1-chloromethyl-4-nitro
- 2) 試 験 生 物： オオミジンコ(*Daphnia magna*)
- 3) 生 物 数： 10頭／1試験区(1連につき1頭で1試験区10頭)
- 4) 暴 露 期 間： 21日間
- 5) 暴 露 方 式： 半止水式(1日に1回、試験液を交換)
- 6) 試 験 濃 度： 1.00、0.500、0.250、0.125及び0.0625 mg/L(公比：2.0)、対照区
- 7) 連 数： 1試験区につき10連
- 8) 試 験 液 量： 1試験容器(1連)につき80.0 mL
- 9) 試 験 水 温： 20±1℃
- 10) 照 明： 16時間明(1,200 lux以下)／8時間暗
- 11) 試験液中の被験物質の分析： 高速液体クロマトグラフィー (HPLC)  
(0、1、8、9、15及び16日目)

結 果

- 1) 試験液中の被験物質濃度

被験物質の測定濃度が設定の±20%を超えたため、各影響濃度の算出には測定濃度(時間加重平均値)を採用した。

- 2) 21日間暴露の各影響濃度結果を以下に示す。

親ミジンコの半数致死濃度(LC50):0.487 mg/L(95%信頼限界:0.243~0.948 mg/L)

50%繁殖阻害濃度(EC50):0.527 mg/L(95%信頼限界:0.502~0.554 mg/L)

最大無作用濃度(NOEC):0.243 mg/L

最小作用濃度(LOEC):0.487 mg/L